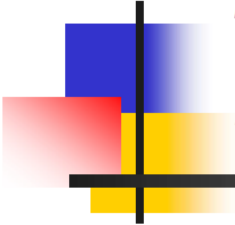


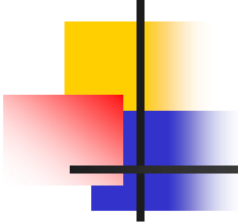
2021. 03. 09



## 統合的気候変動予測プログラム 成果報告会に向けて

---

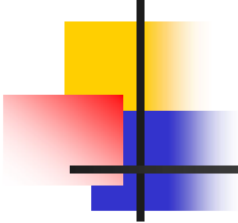
プログラムディレクター  
東大特任教授 住 明正



# 統合プロを取り巻く状況(1)

---

- 気候の変動は続く
- 球磨川の洪水



## 統合プロを取り巻く状況(2)

---

- オーストラリア・カリフォルニアの山火事



## 統合プロを取り巻く状況(3)

---

- アメリカのパリ協定への復帰
- 気候非常事態宣言の国会通過
- 2050年、排出ネットゼロ宣言
- 適応策の展開

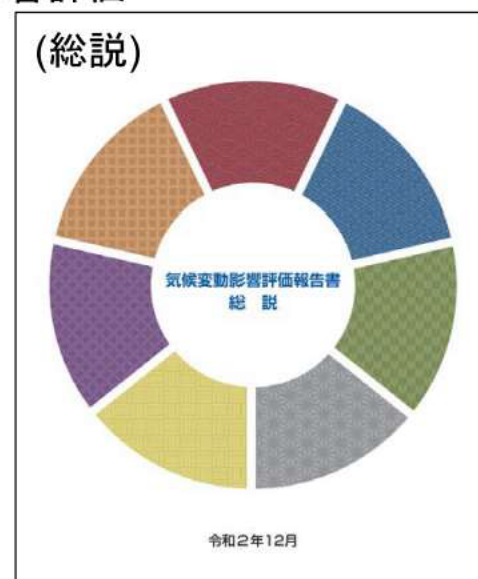
# 統合プロを取り巻く状況(4)

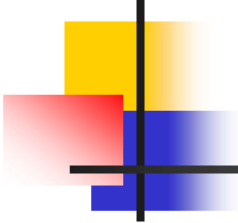
- 成果は、社会に還元されている
  - 日本の気候変動2020(気象庁・文科省)
  - 気候変動影響評価報告書(環境省)

統合プログラムの実験並びにその解析の成果



統合プログラムの実験を用いた  
影響評価





## パリ協定のもとでは

---

- 各国が**自発的**に削減目標を申告し、
- **5年ごと**に進捗状況を検証し
- 対応策を変化させてゆく
- 適応法の下でも、**5年ごとの影響評価**
- 温暖化の影響を「**見える化**」
- **行動**に積極的に参加すること
- いずれにせよ、**観測と数値モデルの発展**が不可欠



## そこで、本プログラムでは

---

- 基盤となる気候変動のメカニズムの解明と、モデルの高度化
- 気候モデルの結果を、具体的な課題に対して応用してゆくための“橋渡し”の研究



# 適応策の実施に際して

---

- 地球温暖化による気候変動の**影響の「見える化」**、具体的な対応策の提示
- 様々な職業の人ととの対話
- 適応の法制化に伴い**適応策の展開**
- 温暖化対策として、**緩和と適応の統合的な推進**
- 適応に向けて行われていた研究**(SI-CAT)**を取り込む





## 4つのプロジェクト

### ■ A. 全球規模の気候変動予測

- すべての気候変動対策の基礎となる全球予測モデルの構築

### ■ B. 炭素循環・気候感度の解明

- 緩和策検討の基礎となる気候感度の解明

### ■ C. 統合的気候変動予測

- 国内や東南アジアの適応策検討の基礎となるモデルの構築

### ■ D. 統合的ハザード予測

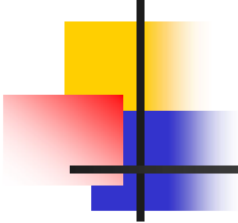
- 温暖化による自然災害等のリスク・影響の評価

# 統合的気候モデル高度化研究プログラムの実施体制

## 統合的気候モデル高度化研究プログラム



気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第1作業部会に関する国内外の研究動向の調査等 (毎年、一般競争入札を実施)

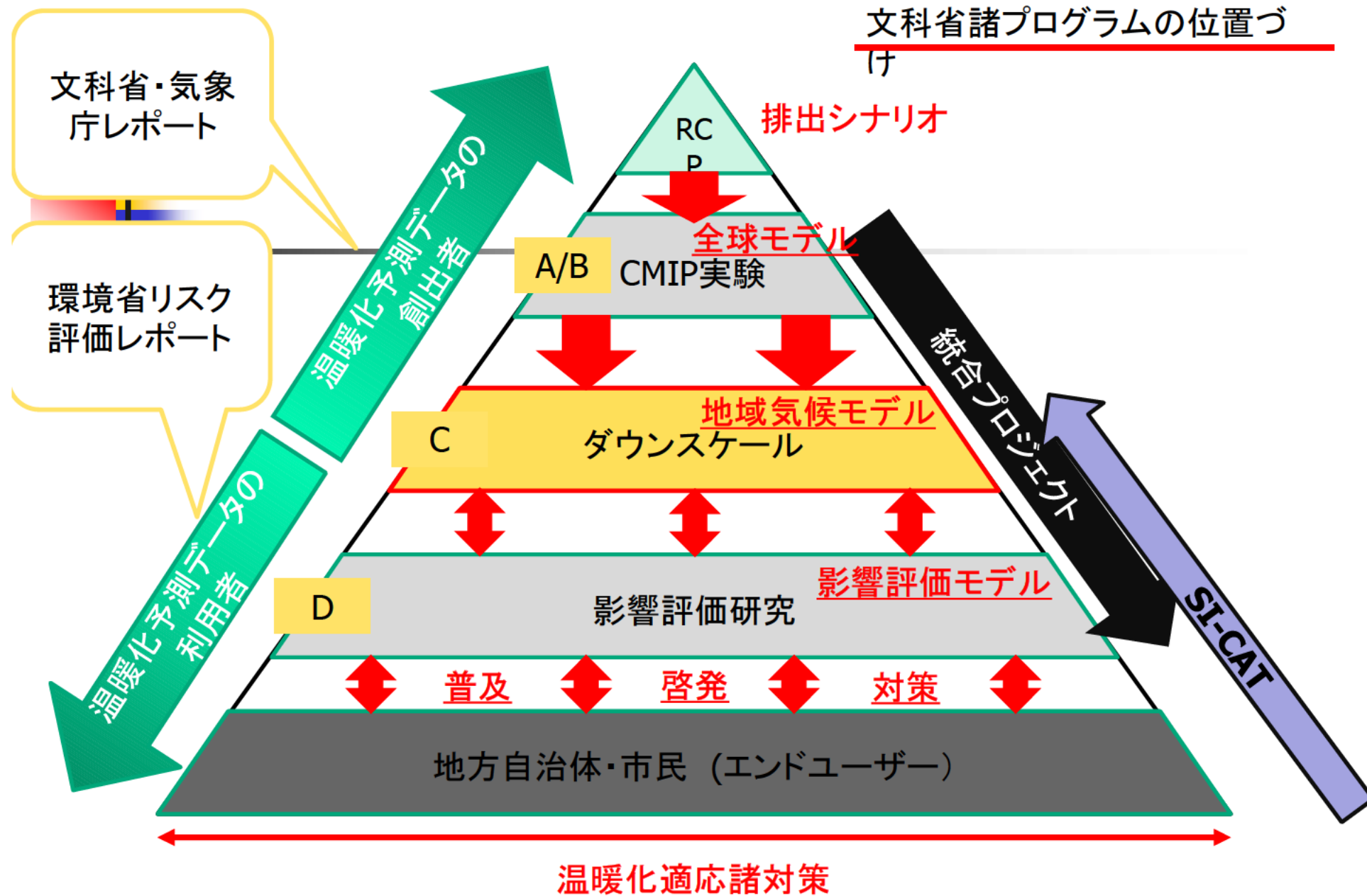


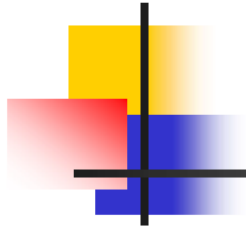
## SI-CAT の一部が加入

---

- 気候変動適応技術社会実装プログラム（SI-CAT） 令和1年度終了
- 地域気候変化の研究
  - 海洋
  - 水災害・ヤマセなど

文科省諸プログラムの位置づけ





- 各班からの成果発表をお楽しみください。